

自治労きよと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩朗
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

3 / 21
2002
第405号

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@po.media-net.ne.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/



山田啓二氏の必勝へ

4月7日投票
京都府知事選

3月21日告示 選挙戦がスタート



▲多くの支援にこたえる山田啓二氏

三月二十一日、京都府知事選挙が告示された。府本部が推薦する山田啓二候補は、若さと行動力で出馬表明以降、丹後半島から山城地方まで「天馬空を駆ける」勢いで駆け巡ってきたが、まだまだ知名度が低い。投票日までの戦いで「山田」の名前と政策を府民に知ってもらえるかが勝負だ。山田啓二候補は一九五四年兵庫県生まれの四十四

七歳。自治省入省後、岐阜県、和歌山県、高知県に赴任。九九年に京都府総務部長、昨年六月に副知事に就任した。総務部長時代には市町村長とも合併問題を論議、京都での期間は短いものの府内自治体については熟知している。よく聞き、よく歩く現場主義をモットーに、気さくに話をする姿はとどろきの「山田君」と親しみを覚える。

少子高齢化の時代を迎え、地域の活性化と雇用の創出、まちづくり・分権自治の確立が大きな課題となっている。府本部は党利党略だけの共産党の推す候補を圧倒し、山田知事誕生に向けて全力で奮闘する。

第23回 全国町村職総決起集会



▲全国から1900人が結集した総決起集会

自治労第二十三回全国町村職総決起集会が三月一日、東京日比谷公会堂で開かれ、四十六県、千三百十六単組、千九百十三人の町村職の仲間が結集した。京都からは前日の町村職女性交流集会から一単組二人が引き続き参加し、全体で四単組六人の参加となった。

その後、自治労新規加盟町村職七単組の紹介、総務省交渉の概要説明、前日の町村職女性交流集会と町村立病院対策会議の報告があった。さらに四県本部からさまざまな角度で闘いの報告と決意表明がなされた後、団結がなげうで町村職のよう一層の結集を確認した。

町村職1316単組が結集

自治労第23回全国町村職総決起集会 市町村合併の問題を提起

いる市町村合併の問題を提起、その打開のための組織拡大と住民理解の重要性を訴えた。

統一して北岡自治労中央執行委員長から、自治労の不祥事問題で失われた信頼回復に全力をあげて取り組む姿勢が熱弁され、新三役が町村職の出身となり町村職への期待も表明された。



2002.3.14 ばるるプラザ
2002春季生活闘争・知事選勝利
連合京都官公部門連絡会総決起集会

連帯のあいさつをする羽室武連合京都会長

連合京都官公部門連絡会主催の春季生活闘争・知事選勝利総決起集会が三月十四日、ばるるプラザ京都で開かれ、官公労働者二百五十人が参加した。はじめに連合京都官公部門連絡会の村尾強代表委員が「公務労働者の生活維持と公務員制度改革の制度化反対の闘いを繰り広げるとともに、京都府知事選挙で山田啓二氏の必勝をめざす取り組みを強化したい」とあいさつ。続いて羽室武連合京

都会長から連帯のあいさつがあった。次に公務員連絡会事務局長の岩野修氏による「公務員制度改革を巡る現状と今後の課題」についての講演が行われた。公務員制度改革の取り組みは、具体的な法制化をめぐる第二段階に入る。官公部門連絡会は今後の取り組みとして、ILOの国際的闘争と同時に国会で大綱撤回を追求、中央行動や一千万人署名など総選挙なみの総

力を挙げた体制を確立し闘争を展開する。自民党とキャリアの一部が結託した「お手盛り改革案」が実施されれば私たちの働き方と暮らしのあり方を規定することになる。したがって今後の取り組みは私たちの未来をかけた大きな闘争となる。岩野氏は「公務員のみ閉鎖的な運動から脱却し、公共サービス労働者の集まりとして中長期的展望を持った闘い方を考えることが必要」と

自治労スト権を確立

批准率67.74% 京都は72.64%

自治労は三月一日、第二回拡大闘争委員会を開き、「年間を通じて一波につき二時間を上限とするストライキ体制」を確立する批准投票の結果、六七・七四%の批准率でストライキ権が確立されたことを確認した。

府本部は二月二十二日を基準日に批准投票を実施し、七二・六四%の批准率で、投票を実施した二十七単組全部が批准に成功した。

民間労働組はストライキと賃金削減に対して「雇用と賃金水準の確保」を最

公務員制度改革大綱の撤回を

縮めくつた。最後に集会アピールと山田啓二予定候補からのメッセージが読み上げられ、団結がなげうで閉められた。

雇用から退職まで格差をなくす
モ一許さない
男女の不平等



第24回自治労スポーツ大会

府大会の日程決まる

野球5月25日(土) バレー6月1日(土)

囲碁将棋大会は5月11日(土)



▲昨年のスポーツ大会・軟式野球の部

府本部は第二十四回自治労スポーツ大会の京都府大会を、男子は軟式野球、女子は九人制バレーボールを種目に開く。今年には近畿連大会が京都府大会と同日開催される。府大会の日程は、軟式野球が五月二十五日(土)と六月一日(土)、バレーボールが六月一日。会場は八幡市民スポーツ公園施設。

また、第五回府本部囲碁将棋大会は五月十一日(土)に府本部で開く。豪華副賞も用意しており、ぜひ多くの組合員の参加をお願いしたい。

ウイングス京都

情報

「ジー・ステップ」開講
京都市女性総合センター・ウイングス京都は、四月から京都市女性大学を改め「ジー・ステップ」を開講する。男性も含め、

社会のさまざまなことからジェンダーに敏感な視点でとらえ、課題に主体的に取り組む力をつけ、ステップアップすることを目的としたカリキュラム。内容は「初めて学ぶ女性学」「男らしさを問い直す」などの基礎コースと、環境問題、家族法と労働法、企業経営などのテーマ学習コース。☎075(212)0606

春のおすすめ スポット 名所百選 笠置町の桜



歴史とロマンを素朴にたどらせる静かな史跡と景勝の里、笠置町の春を満喫してください。

4月6日に さくらまつり

日本の桜名所百選に選ばれている約二千本の笠置町の桜が満開になると、木津川やJR線路沿いを中心に町全体が薄紅色に染まります。毎年この時期は町中にやさしい風景ときわやかな香りが広がり、訪れるハイカーやキャンプ客を和ませてくれます。
四月六日(土)には、いづみ路さくらまつりがJR駅前と笠置町産業振興会館周辺で開催されます。楽しい企画を予定していますので、ぜひお越しください。
お問合せは☎0743(95)2301(笠置町企画観光課)へ。

男女共同参画の推進を

連合京都青年委員会 清村副委員長が再任



二月二十一日、連合京都青年委員会第十二回定期総会が若月連合京都副委員長や泉健太民主党政京都府連第三区総支部長を来賓を迎え、ラホール京都で開催された。各代議員からは「差別だけでなく、総会では原委員長(情報労連)や来賓のあいさつを聞いてほしい」「男女共同参画について青年委員会として積極的に推進してほしい」などの発言があり、執行部は「具体的にどのような活動ができるかを検討しながら取り組んでいきたい」という趣旨の答弁があった。

この活動方針案については、四月七日に実施される京都府知事選挙での山田啓三予定候補の必勝を期す決議とともに全員の賛成で採択された。なお、総会では役員改選も行われ、原委員長や清村副委員長などが再任された。



国保労組女性部は、下部組織移行二十周年を迎えるにあたり、三月八日に記念式典を開きました。

基本組織誕生四十周年。その中で女性部として活動し、この意義ある大会を迎えることができました。今後三十周年に向けてがんばっていかねばなりません。

20年をふり返り 決意を新たに

式典の記念講演として、講師にHOLM麻植佳子さんを招き、「ともに生きる社会をめざして、これからの女性の生き方」と題して、

高齡社会における介護、子育て、性教育について語っていただき

ました。育児・介護は決して女性だけに課せられたものではなく、少子社会が進む現代社会の中で、どうすれば女性が安心して子どもを産み育てることができるとか、それにはやはり社会全体の協力なしには成しえないということをインパクトのある口調でお話していただきました。

その後、場所を移動し、ささやかながら祝賀会を開き、楽しいひとときを過ごしました。(国保労組女性部)

高齡者再任用で交渉

八幡市職労 適正な運用求める

八幡市では、高齡者再任用制度の希望者を募集した後に、市の不手際で雇用できないという市政運営が起きている。再任用制度は実施できない八幡市の再任用制度は、昨年九月市議会で可決、賃金や労働条件など、も十月に市職労との間で確認書を締結、十一月か

市長は「再任用の募集は人事担当が内部議論をしないまま行った」と発言。市職労の「市長決裁で募集することは明らか」との追及で市長は、決裁文書を十分に把握していないことを認め、今後制度の適正な運用に努めると回答。希望者に対して説明会を開き「再任用制度で雇用はできないが、働きたい希望については最善の努力をつくす」と明言した。

環境と福祉の先進都市「北九州市」

まちづくり見学会参加者募集

京都自治総研 4月18~19日



京都地方自治総合研究所は、大阪府政調査会と共同で環境と福祉の先進都市「北九州市」のまちづくり見学会を企画。参加者を募集している。一日目は、資源循環型経済社会の構築をめざした「北九州エコタウン事業」として、エコタウンのリサイクル施設を、二日目は保健・医療・福祉の総合的「地域福祉ネットワーク事業」として、市・区・学校区の三層構造による地域福祉のまちづくりを見学する。日程は四月十八日(木)と十九日(金)の二日間。費用は五万円。申し込み締め切りは四月一日。問い合わせは京都地方自治総合研究所へ。☎075(252)2143

▲家電リサイクル工場

主な保障内容

■最高加入限度、住宅400口・家財200口の場合での保障内容です。自然災害共済は同口数で付帯しています。

最高保障額 6,000 万円 火災など	最高保障額 3,300 万円 風水害など	最高保障額 1,020 万円 地震などによる火災 + 地震等災害見舞金
----------------------------------	-----------------------------------	--



じちろう共済

火災・風水害・地震などを **ワイド** に保障します。

自然災害保障付 火災共済

火災共済+自然災害共済

充実保障の火災共済に自然災害共済をセットして住まいの保障がさらに大きくなります。